

Ad

トップ > スポーツ > ラグビー > 国内 > 京大、土壇場で追いつき連敗ストップ 医学部4年でU23日本代表

京大、土壇場で追いつき連敗ストップ 医学部4年でU23日本代表



トップ

スポーツ

エンタメ

競馬・レース

日本代表

リーグワン

大学ラグビー

高校ラグビー

国内

海外

ノーサイド



お客様の使いやすさ、利用状況の分析、興味・関心度の高い広告配信のために、端末情報等を利用しています。詳しくは[「利用規約」](#)をご覧ください。

閉じる

大学ラグビー定期戦（21日、立命大31－31京大、滋賀・立命大BKCグリーンフィールド）
1931（昭和6）年に始まり、今回が94度目となる伝統の定期戦は、京大が3点を追う後半ロスタイムに医学部4年で今春のU23（23歳以下）日本代表にも選ばれたSO大鶴誠（じょう）主将のPGで同点に追いついて引き分け。連敗を18で止め、対戦成績を41勝50敗3分けとした。

関西大学Bリーグ（2部）所属の京大は前半、主力抜きの若手主体で臨んだAリーグの立命大に攻め込まれながらも粘り強く守り、7－14で折り返すと、後半開始早々に1トライ（ゴール成功）を返して同点に。すると、6分にSO大鶴主将が鋭いステップで相手防御を切り裂き、約40メートルを独走して勝ち越し。その後はトライを奪い合い、京大は28－31と3点をリードされてロスタイムを迎えたが、45分到大鶴主将が右中間約40メートルのPGを冷静に決めて追いつき、その瞬間、ノーサイドの笛が鳴った。

この日、1トライ4ゴール1PGで計16得点を挙げた大鶴主将は「きょうの自分たちは本気で勝ちに行き、チームとして実力を発揮することができたので、最後は同点にして帰ろうと（PG選択を）決断した。緊張したし、主将としても10番（SO）としても外すわけにはいかなかったもので、ほっとしました」と笑顔を見せた。

[続きを見る](#)

[1](#) [2](#) [次 →](#)

作成者：[月僧正弥](#)
[シェアする](#)

最新のニュースやお得な情報を受け取ろう

[フォロー](#)

[フォロー](#)

[iPhoneにも対応](#) [プッシュ通知](#)

あなたにオススメ

- 元朝青龍「亡くなった事に最近知りご冥福祈ります」
- 田中史朗さん、山口良治さんを偲び「第二の父が亡くなったような思っちゃん、アイス食べる？」
- 林敏之さん「うれしくて先生に抱きついた」山口良治さんの言葉に…
- 阪神に緊急事態か 森下翔太が途中交代
- 大八木淳史氏、恩師山口良治さんの思い出は「おまえラグビー部入校別れの会出席

お客様の使いやすさ、利用状況の分析、興味・関心度の高い広告配信のために、端末情報等を利用しています。詳しくは[「利用規約」](#)をご覧ください。

